

BASIC
BOOKS

人事労務管理

津田真澄編著

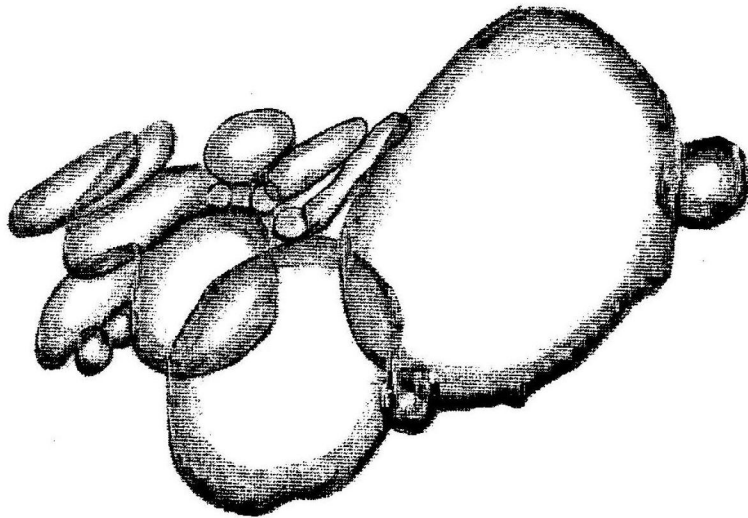


ミネルヴァ書房

BASIC
BOOKS

人事労務管理

津田眞澂編著



ミネルヴァ書房

I 総論

第1章 人事労務管理の役割

1 人事労務管理の位置

企業…(3) 経営活動…(4) 人材資源の管理…(4)

2 人事労務管理の機能

雇用関係…(7) 変動する市場経済…(8) 勤労者の成立…(9) 労働組合の成立と変化…(11)

3 人事労務管理の領域

管理領域の区分…(12) 個別管理と集団管理…(12) 人事部と人事制度…(14) 非常用者管理…(15)

第2章 人事労務管理の学説の形成と発展

1 経営管理の確立

近代合理主義思想…(19) ウェーバーの純技術的組織論…(20) テイラーの科学的管理法…(21)
ファヨルの管理原則…(22)

2 人事管理論の成立

古典派理論の勤労者像…(25) スコットの人事管理論…(26)

3 行動科学の展開

行動科学の登場…(28) 欲求リストと絞り込み…(29) 欲求階層論…(29) 職務充実論…(31)

4 集団主義理論の登場

人間関係論…(32) 集団力学の展開…(35) 集団参加型経営の提唱…(36)

5 労使関係の制度化と発展

インダストリアルリズム…(38) 労使関係制度論の提出…(39) 参加型労使関係の実践…(40)
参加型労使関係の実験…(41)

第3章 日本の経営の人事労務管理

1 戦後企業経営の課題

占領軍政の絶対支配…(45) 労働運動の克服…(46) 勤労意欲の弛緩…(47) 工業化の目標の選択…(48)
技術主義の成立…(48)

2 日本の経営の形成

企業経営の課題…(49) 人事労務管理の展開…(49)

3 日本の経営の人事労務管理の発展

心の信頼関係…(51) 企業集団の発達…(52) 生産性向上運動…(53) 総合的品质管理運動…(53)
高度工業化社会の達成…(55)

4 日本の経営の人事労務管理の変容

反工業化社会運動の発生…(55) 人事労務管理の変化…(56) 工業化社会の転換…(57)

第4章 人事労務管理の課題

1 情報ネットワーク社会の情報化経営

工業化経営から情報化経営へ…(61) 「グローバル化ゼーション」…(62) 市場経済の変化…(63)

2 共同生活体の解体

労働市場の変質…(65) 人手不足と高齢化…(66) ゼネラリストの運命…(68) 日本社会のサイクル…(69)

II 各 論

序 各論の課題

情報化経営への転換…(76) 包括一元管理の見直し…(77) 人事管理の複線化…(78) 従業員自身の
メニュー選択…(79) 混合職場…(79) 生活者としての従業員…(80) 企業の社会性…(81)

第5章 人事制度

1 人事労務管理の中枢としての人事制度

2 原点としての年功的人事制度

職位と資格による年功的人事制度…(85) 年功的人事制度の見直し…(88)

3 職能資格制度

職能資格制度の登場…(89) 職能資格等級…(90) 職能資格等級と役職制度…(92) 職能資格等級と仕事
の対応…(92) 職能資格等級と従業員の職務遂行能力…(93) 職能資格制度と処遇、評価、能力開発…(94)
主流となった職能資格制度…(94) 職能資格制度の限界…(95)

4 新しい人事制度への道筋——四つの課題

事業構造転換への対応——本社・分社経営におけるグループ人事制度…(96) 専門職業能力の活用
と育成——全員専門職制度の試み…(98) 労働力構成の多様化——複線型人事制度の試み…(99)
高齢化への対応…(101)

5 クラスタ―専門職制度の提案

クラスタ―専門職制度とは…(103) クラスタ―専門職制度の可能性…(105)

第6章 採用と人事配置

1 人材の流れ

人材の流れと採用・人事配置…(107) 日本企業の採用・人事配置…(108)

2 採用と雇用調整

採用の手続き…(109) 雇用調整…(110)

3 人事異動

適性配置と人事情報システム…(111) 人事異動のパターン…(112) ジョブ・ローテーションと人事部…(113)
ゼネラリスト育成型とスペシャリスト育成型…(113)

4 環境条件の変化と採用

採用…(114) 労働力不足…(116) 採用方法の変化——コース別採用と職種別の採用…(117)

5 環境条件の変化と人事配置

配置転換…(118) 出向…(119) 社内公募制…(120)

第7章 就業管理

1 就業管理の課題

就業管理の意義…(121) メンタル・ヘルスの問題…(122) 混合職場の就業管理…(123)
ニューオフィスの登場…(126) 在宅勤務・リゾートオフィス・サテライトオフィス…(127)

2 労働時間管理

労働時間管理の目的とプロセス…(129) 労働時間管理の方向…(130) 労働時間と人事労務管理…(131)
労働時間短縮の種類…(133) 労働時間のフレキシブル化…(136) 管理者の時間管理能力向上と負担の

第8章 能力開発

1	能力開発の考え方	141
	能力開発…(141) 教育・訓練の歴史…(142)	
2	能力開発の形態	144
	能力開発の担当部門…(144) 階層別と職能別…(145) OJT・Off-JT・自己啓発…(145)	
3	能力開発のニーズ、設計、効果測定	147
	ニーズ…(147) 設計…(148) 効果測定…(148)	
4	能力開発と人事制度	149
	人事制度との関係…(149) 会社人教育…(151)	
5	環境変化と能力開発	152
	技術進歩と技能者の能力開発…(152) 中高年従業員の能力開発…(153) 国際化人材の養成…(154)	
第9章 人事評価		
1	人事評価の種類	157
	人事評価とは…(157) 従業員情報と人事評価…(158) 人事考課…(158) 人材評価制度…(159) ヒューマン・アセスメント…(160)	
2	人事考課の変化の方向	162
	従来の人事考課への反省…(162) サラリーマンの人事考課に対する意識…(162) 人事考課の	
3	人事考課の実態	163
	使用目的の実態…(163) 人事評価体系と人事考課の位置づけ…(164) 人事考課の種類(評価区分)と目的…(164) 考課者、対象者と観察期間…(166) 評価要素…(166) 加点主義の評価…(169)	
4	能力開発計画と連動した人事評価システム	169
	能力開発計画の提案と実例…(169) 経営改善活動と能力開発の連動…(170) 能力開発・育成計画書の内容…(170) 人事考課のプロセス…(173) 評価結果のフィードバックと育成との連動…(174)	
5	社会人としての従業員の評価の試み	175
	ニュー・ワーク・ウェイと人事評価の改革…(175) 特別加点制度の導入…(176)	
第10章 賃金管理		
1	人事労務管理における報酬の管理	179
	組織への貢献に対する報酬としての賃金…(179) 賃金と動機づけ…(180) 企業の賃金思想…(180)	
2	基本給の設計	181
	賃金体系と基本給…(181) 賃金制度…(181) 賃金制度の設計…(183)	
3	基本給・諸手当・賞与	184
	日本の賃金体系…(184) 基本給の体系…(184) 諸手当…(186) 賞与・一時金…(188)	
4	賃金管理に関わる諸問題	189
	定期昇給とベースアップ…(190) 賃金額の改訂と賃金制度の変更…(190) 総額人件費…(190) 個別賃金交渉…(191)	

5	賃金管理の今後の課題……………	192
	管理職の年俸制……………(192)	
	複線型人事制度における賃金制度……………(193)	
第11章	フロー型人材の人事労務管理……………	197
1	人材タイプの多様化とフロー型人材……………	197
	日本的雇用慣行の動揺と労働者意識の変化……………(198)	
	フロー型企業の登場と雇用制度の変化……………(198)	
	人材タイプの多様化……………(199)	
2	フロー型人材の種類と特徴……………	201
	フロー型人材の種類……………(201)	
	フロー型人材の供給源……………(203)	
	女子労働力の特徴……………(205)	
3	フロー型人材の人事制度の開発……………	206
	ダイエーのパートタイマー職能資格制度……………(206)	
	伊勢丹のサムタイマー制度……………(211)	
	イトーヨーカドーの社員群制度……………(213)	
	西武百貨店のキャスト制度……………(215)	
4	フロー型人材管理と混合職場の課題……………	219
	フロー型人材の役割分担と適正な処遇……………(219)	
	混合職場……………(220)	
第12章	研究開発技術職人事の開発……………	223
1	問題の所在……………	223
	包括的一元管理を可能にした条件……………(224)	
	包括的一元管理の崩壊……………(226)	
2	ソフトウェア産業の人事制度……………	227
	ソフトウェア産業の特徴……………(227)	
	職能資格制度とその限界……………(229)	
3	研究開発部門の人事制度……………	231
	全社統一の専門職制度……………(232)	
	開発の領域と研究の領域……………(233)	
4	今後の方向……………	236
	二極化人事戦略……………(236)	
	日本型年俸制度の方向……………(236)	
第13章	国際化人事管理……………	243
1	海外派遣社員の人事労務管理……………	243
	企業活動の国際化と人事労務管理の課題……………(243)	
	海外派遣勤務の現状……………(244)	
	海外派遣者の立場からみた人事労務管理……………(246)	
	海外派遣社員の人事労務管理の課題……………(247)	
2	現地雇用従業員の人事労務管理……………	249
	現地雇用ホワイトカラーの人事管理……………(249)	
	人事管理の現状……………(250)	
	人事管理の改善課題……………(252)	
	国際経営の改善課題……………(253)	
3	外国人専門職社員の人事労務管理……………	254
	企業は外国人専門職に何を求めているのか……………(255)	
	外国人専門職の就労働機……………(257)	
	制度上の位置づけ……………(258)	
	職場での人事労務管理……………(259)	
第14章	従業員福祉……………	263
1	人事労務管理と従業員福祉施策……………	263
	従業員福祉の歴史的展開……………(263)	
	人事労務管理の体系と従業員福祉施策の位置づけ……………(265)	
2	現代の従業員福祉施策の領域と内容……………	266
	従業員福祉施策の見直し……………(266)	
	従業員福祉の五つの柱……………(268)	

3	これからの従業員福祉	270
---	------------	-----

	疲労・ストレスの対策	(270)
	生活者としての幸福を支援するための従業員福祉施策	(273)

第15章	労働法、労使関係と人事労務管理	275
------	-----------------	-----

1	現代社会と労使関係	275
---	-----------	-----

	現代市場経済と労使関係	(275)
	現代勤労者市民社会と労使関係	(277)
	労働組合の結成と	

	労使関係の確立	(278)
--	---------	-------

2	企業経営と労働法体系	279
---	------------	-----

	生存権的基本権の保障	(279)
	労働基本権の保障	(280)

3	雇用の安定に関わる労働法と人事労務管理	281
---	---------------------	-----

	雇用政策の基本原則	(281)
	労働者の募集、紹介、派遣	(282)
	高齢者と心身障害者の雇用促進	(283)

4	労働条件の維持に関わる労働法と人事労務管理	284
---	-----------------------	-----

	就業規則	(284)
	賃金	(285)
	労働時間制度	(287)

5	労働組合の権利や活動に関わる労働法と人事労務管理	289
---	--------------------------	-----

	労働組合の法的保護	(289)
	団体交渉	(290)
	労働争議、争議行為	(291)

第16章	労働組合関係管理	293
------	----------	-----

1	労働組合と労使関係	293
---	-----------	-----

	労働組合関係管理の意義	(293)
	労働組合の二つの顔	(294)
	経営戦略としての労使関係	(296)

2	労働組合の組織と活動	299
---	------------	-----

	組織単位	(299)
	組合運営	(300)
	組合役員	(301)
	組合費	(301)
	産業別組織の形態と機能	(303)
	組合離れへの対応——ユニオン	(304)
	アイデンティティ	(306)

3	企業レベルの労使関係の実際	307
---	---------------	-----

	労働協約	(307)
	団体交渉	(308)
	労使協議機関	(312)
	組合活動のための企業施設の供与	(314)
	中小企業の労使関係	(314)

<編著者紹介>

津田眞激 (つだ・ますみ)

1926年 生まれ。

1952年 東京大学経済学部卒業。

一橋大学社会学部教授を経て、

現在 青山学院大学国際政治経済学部教授、経済学博士、社会学博士。

主 著 『日本の経営の論理』中央経済社、1977年。

『日本の経営の人事戦略』同文館、1987年。

『人工化社会と電腦文化』有斐閣、1992年。

執筆者紹介(所属、執筆分担、執筆順、*は編者)

つだ ますみ
*津田眞激 (青山学院大学国際政治経済学部教授、第1～4章)

くら たよし き
倉田良樹 (一橋大学社会学部助教授、IIの序、第5章、第13章、第14章)

ふじ わら みち お
藤原道夫 (南山大学経営学部助教授、第6章、第7章1、第8章、第10章)

はやし ひろ き
林大樹 (一橋大学社会学部助教授、第7章2、第9章、第11章)

やまもと きょう かつ
山本恭逸 (財社会経済国民会議国際経済政策部部長代理、第12章)

おう み なお と
逢見直人 (ゼンセン同盟常任執行委員、第15章、第16章)

[Basic Books]
人事労務管理

1993年4月10日 初版第1刷発行

検印省略
定価はカバーに
表示しています

編著者 津田眞激
発行者 杉田信夫
印刷者 田中雅博

発行所 株式会社 ミネルヴァ書房
607 京都市山科区日ノ岡堤谷町1
電話 (075) 581-5191 (代表)
振替口座・京都2-8076番

©津田眞激, 1993

創栄図書印刷・新生製本

ISBN4-623-02214-5

Printed in Japan